



みんな集まれ 朝の森へ!

第9回 森林公園植物園



セーフティー！サイクリング



2022年9月11日（日）

愛知県森林公園植物園



1年に一度、植物園を自転車で走行できるイベント。朝の森に、小学生、中学生、保護者、一般の方、合わせて11組21名の皆さんが集まりました。守山警察署のおまわりさんからは、ヘルメットの大切さについてお話がありました。サイクリングの前にはOSCNスタッフによる安全走行ルールの実演。車間は自転車1～2台分あける。止まる時は「止まります」の声掛け。ブレーキは両手でじわ〜っとかける。準備体操も大事、GIANTストア名古屋さんといっしょに体をほぐします。夜明け前に降っていた雨はすっかり上がり、空は青く広がっています。さあ出発です。班別に並んで、ゆっくりと左側通行。途中2か所のT字路には、「止まれ」の標識と停止線を設置しています。止まって、安全確認「右左右後ろ」。朝日に輝く広芝生をぐるっと一周すると休憩です。お野立所では、B-Forceのおまわりさんのお話。休憩が終わるとサイクリングは後少し。北門まで声を掛け合いながら進みます。植物園を後にしたら、北門前の芝生広場へ。ここでは、GIANTストア名古屋さんによる自転車の点検・整備の実演、森林公園の方による植物観察会、尾張旭市交通少年団の皆さんからのお話があります。サイクリングの後も元気よく、積極的な参加者の姿が印象的でした。

- 運営 : 交通教育NPO OSCNじてんしゃスクール (尾張旭・セーフティー・サイクリスツ・ネットワーク)
 後援 : 愛知県教育委員会・尾張旭市・尾張旭市教育委員会
 協賛協力 : 愛知県森林公園・愛知県警第一交通機動隊自転車対策小隊B-force・あいちエコモビリティライフ推進協議会
 愛知県守山警察署交通課・守山尾張旭交通安全協会・尾張旭市市民活動課交通防犯係・尾張旭市交通少年団
 GIANTストア名古屋・前原デンタルクリニック・ドバツライノハウス・RADIO SANQ FM84.5・翠香書院
 取材 : GCTVグリーンシティケーブルテレビ (そらまめ)



開会式

ヘルメットの大切さのお話
愛知県守山警察署交通課
松田さん

「昨年、尾張旭市で自転車事故によってケガをした人のうちヘルメットをかぶっていた人は、わずかでした。」
「事故では自転車が壊れるほどの衝撃があります。安全走行やヘルメットが大事です。」



サイクリングに出発

サイクリングルートには、「止まれ」の標識を設置。白線の手前でブレーキをかけて止まります。発車時には安全確認「右左右後ろ」。いっしょにサイクリング中のおまわりさんが指導してくださいました。



交通安全指導
愛知県警察第一交通機動隊自転車対策小队
B-Forceの皆さん

ヘルメットは眉の上まで深く、あごは縦に指2本入る余裕を。一時停止の場所では、停止線からタイヤが出ない位置で停車。見通しの悪い場所では、2度の安全確認などなど。とてもわかりやすい指導でした。



広芝生 お野立所

朝日を受けてキラキラ輝く芝生の丘には、お野立所があります。令和元年（2019年）開催の第70回全国植樹祭の際に建てられ、今でもステージとして活用されています。





整備・点検の実演
GIANTストア名古屋
長尾さん

「気づかないうちに部品が緩んでしまうこともありますので点検が必要です。」
「よくわからない場合は、近くの自転車屋さんにご相談しましょう。」
チェーンに油を指す実演では、身を乗り出して見入る子どもたちの姿がありました。自転車の仕組みや手入れにも興味津々です。



サイクリングルート

北門 → 右手の砂利道へ → 南門でUターン →
F湿地横を通過 → 睡蓮池横を通過 → 展示館前を通過 →
広芝生を一周 → 広芝生で休憩・お野立所でB-Force
のお話 → 北門出口へ



尾張旭市交通少年団からの
お願い

道路での安全ポイントについて小学生が一人ずつ発表します。
「ま・み・む・め・も」の頭文字を使った説明は分かりやすかったですね。





植物観察会
森林公園 廣永さん

どの葉をちぎっても同じ形になるヤハズソウの不思議。コナラとハイロチョッキリの対決の謎。ワルナスビのトゲと毒。足元の草や木の葉から広がる植物と虫の奥深い世界。「不思議。」「知らなかった。」「どうしてなの。」「それは何。」子どもも大人も夢中です。



GCTVで
放送
されました



写真：富永・岩瀬・片山
文：片山



OSCN じてんしゃスクール
TEL 0561-52-3134 (片山)
www.oscn-school.org